

2024 2

ナイル

現代短歌ナイル

【今月の歌】

橋本涼、二方久文
小村井敏子、加藤里佳

ナイルキャンパス／五代目神田伯梅

12月号作品批評／宮本史一(心の花)

【住谷眞 第二歌集 特集】

井村清美、宮本史一、橋本涼

NILE CAMPUS

296

伯梅閑話 —— 六代目伯山への手紙 —— 小村井敏子（五代目神田伯梅）

思いがけず、六代目神田伯龍の妻となつた小村井敏子です。講談師でもない私が名乗つていい名前ではないこと重々承知しながら、伯龍のアシスタントとして伯梅となるよう伯龍に言われ、本牧亭のおかみさんと松鯉先生にはお知らせしました。現代短歌ナイルに連載中の伯龍の聞き書きなどを伯龍のHPに載せています。

長々お読みいただくのも不思議なことを簡条書きにさせていただきます。

・森本平先生との対談、拝見しました。歌詠みとしてお母様から存じ上げております。子を産んですぐ亡くなつたという伯龍の祖母は、森本先生のお住まいである金森の人と聞いています。

・伯龍の実家は鈴ヶ森の刑場近く、私の母方の曾祖父は近江の国木之本の黒田村から江戸送りになつた罪人に付き添つて鈴ヶ森へ。気の毒な事情のあつた罪人だつたそうで、その後、一家で浅草に出てきたといひます。

・八代目貞山先生の母、千代夫人は迦れば近江。実家は麴町。私はご近所の番町から母の実家の青山に転居しています。

・千代夫人が亡くなつて、それまで、そんな気配を感じなかつた伯龍にゲットされました。すると、千代夫人が夢枕に立ち、鏡台の前に向かい合つて座る様子を見ました。伯龍が自分の夢には出てくれないと言つと、そのあと、夢に出てくださったと聞きました。

・伯龍のお客様から、今住んでいる家を借りてくれと言われ借りました。千代夫人の墓所の徒歩圏でした。千代夫人が呼び寄せたと思つています。

・伯龍が月参りをしたいと言ひ出し、命日と決めずに一月から十二月まで墓参りをしました。すると、大家が家を売ると言ひ、鎌倉市の教員であつた私がローンを組みました。

（続く）